

【審査結果】（抜粋）

件名及び内容	付託委員会	採決	審査結果						
① 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正 → 全23議案 消費税法の一部改正に伴い、使用料を引き上げるもの 勤労センターの設置及び管理に関する条例の一部改正 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正、等	総務消防 文教厚生 建設環境経済	賛成：19名 反対：2名	原案可決 ○						
② 一般会計補正予算(第1号) → <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <th>補正前の額</th> <th>補正予算</th> <th>年間の予算</th> </tr> <tr> <td>43,190,000 千円</td> <td>219,757 千円</td> <td>43,409,757 千円</td> </tr> </table>	補正前の額	補正予算	年間の予算	43,190,000 千円	219,757 千円	43,409,757 千円	全ての 常任委員会	賛成：21名 反対：0名	原案可決 ○
補正前の額	補正予算	年間の予算							
43,190,000 千円	219,757 千円	43,409,757 千円							

〔補正歳出項目の抜粋〕

事業名・予算額	事業概要		
骨髄提供者等 支援交付金交付事業 予算 630千円		趣旨	交付内容
	提供者	移植時に必要となる通院等に要した費用の一部を交付	20千円/日 上限7日間
	事業者	提供者が移植による休暇を取得しやすくするための費用の一部を交付	10千円/日 上限7日間
認知症高齢者等賠償責任 保険事業 補正予算 270千円	対象者	自宅で生活、認知症もしくは認知症の疑いのある方	
	保障内容	障害死亡・後遺障害	1,000千円
		個人賠償責任	100,000千円
プレミアム商品券事業 予算 表内に記載		低所得者・子育て世帯向け	東海プレミアム商品券
	対象者	住民税非課税世帯	市内在住・在勤・在学
	発行規模	437,500千円	440,000千円
	購入限度	20千円/人(25千円分の商品券)	60千円/人(66千円分の商品券)
	券種類	500円×10枚を1セット	千円×7枚・500円×8枚を1セット
	使用可能	取扱店舗のすべて	大規模店舗 千円券 小規模店舗 千円券・500円券
	補正予算	485,900千円	53,000千円
工場夜景観光促進事業 予算 2,510千円	工場夜景を観光資源として活用、市内の埠頭を発着場所とする社会実験		
	試験運行	1回	関係者 横須賀埠頭の乗降安全性確認
	工場見学&観光クルーズ	3回	一般公募 鉄鋼3社見学と工場夜景
	観光クルーズ	1回	一般公募 工場夜景を鑑賞

③ 水道事業会計補正予算(第1号) → <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <th>補正前の額</th> <th>補正予算</th> <th>年間の予算</th> </tr> <tr> <td>3,288,580 千円</td> <td>0 千円</td> <td>3,288,580 千円</td> </tr> </table> ※債務負担行為補正のみ	補正前の額	補正予算	年間の予算	3,288,580 千円	0 千円	3,288,580 千円	建設環境経済	賛成：19名 反対：2名	原案可決 ○
補正前の額	補正予算	年間の予算							
3,288,580 千円	0 千円	3,288,580 千円							

〔補正予算の事業内容〕

事業名・予算額	事業概要	
水道料金等業務包括委託 予算 396,000千円 (債務負担行為)	趣旨	民間の技術力・経営ノウハウ等を活用、体制強化・コスト削減に期待
	委託業務	9項目 窓口・電話受付、開閉栓、量水器管理、定例検針、給水停止 検針値点検・再検針、料金請求、料金収納、滞納整理
	計画	2019年度 公告、候補者選定、受託契約締結、業務引継 2020年度 4月1日業務委託開始

トピックス

【一般質問】 工藤政明が行った一般質問の抜粋を以下に記します

質問事項	大人の引きこもり
質問要旨	大人の引きこもりを原因とする8050問題が深刻化の様相を呈している 大人の引きこもりを社会問題と捉え、本市の状況及び本市が考える自立への支援策等について問う
質問・答弁	<p>質問【工藤】 大人の引きこもりの定義や対象をどのように考えているのか</p> <p>答弁【市民福祉部長】 引きこもりの定義は、就学や就労等の社会参加を避けて原則6か月以上にわたって家庭に留まり続けている状態を示している 2015年の内閣府の調査結果を基に算出すると、東海市では約570人が対象になると推測</p> <p>質問【工藤】 国や県が進める自立支援策や支援活動の調査研究は行われているのか</p> <p>答弁【市民福祉部長】 国や県の施策にそって、 市役所に生活困窮者への対応の強化として、自立生活支援グループを創設 臨床心理士との相談会、家族交流会等の事業に取り組んでいる</p> <p>質問【工藤】 平成20年3月に「東海市ひきこもり施策基本指針」が策定され、 引きこもりを青少年の問題として捉えた支援策等が打ち出されているが、 青少年の問題に留めず、大人の引きこもりを社会問題と捉えた 自立への支援策等を策定する考えはあるのか</p> <p>答弁【市民福祉部長】 「東海市ひきこもり施策基本指針」に基づき、 平成21年4月に「ひきこもり支援センターほっとプラザ」を開設して、 相談事業、就労体験、常設の居場所づくり等を実施 青少年に限らず、大人の引きこもりも対応している</p>
要望	<p>要望【工藤】 推定数ではあるが、570人という数字が示された これは、あくまでも推定数であり、実態調査は行われていないので、 570人という数字の確からしさを追求していく施策の推進をお願いする その実態を掴むことによって、何が解決策・自立策として必要なのか、が見えてくる</p>

質問事項	学校教育における性の関わり方						
質問要旨	児童生徒の心身の発達段階に応じた正しい性の知識を与えるための教育、 いわゆる性教育について、本市の取組状況を問う						
質問・答弁	<p>質問【工藤】 児童生徒に性教育を行う学年や性教育の授業形態等は、どのようか</p> <p>答弁【教育長】 生き方の教育として、自分の人生を自分らしく前向きに生きていくための意思決定や 行動選択が出来る力を養うことをめざし、主に保健体育科で学習している</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校4年生</td> <td>思春期における体の変化</td> </tr> <tr> <td>中学校1年生</td> <td>生殖にかかわる機能の成熟を学び、発育と共に生殖機能が発達することや 妊娠の仕組みについて学ぶと共に、異性の尊重、性情報への対処等、 性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを学んでいる</td> </tr> <tr> <td>中学校3年生</td> <td>エイズおよび性感染症の予防についても学んでいる</td> </tr> </table>	小学校4年生	思春期における体の変化	中学校1年生	生殖にかかわる機能の成熟を学び、発育と共に生殖機能が発達することや 妊娠の仕組みについて学ぶと共に、異性の尊重、性情報への対処等、 性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを学んでいる	中学校3年生	エイズおよび性感染症の予防についても学んでいる
小学校4年生	思春期における体の変化						
中学校1年生	生殖にかかわる機能の成熟を学び、発育と共に生殖機能が発達することや 妊娠の仕組みについて学ぶと共に、異性の尊重、性情報への対処等、 性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを学んでいる						
中学校3年生	エイズおよび性感染症の予防についても学んでいる						
質問要旨	児童生徒からの性に関する相談を受ける体制について問う						
質問・答弁	<p>質問【工藤】 性に関する相談を受ける体制は整っているのか また、その体制はどのような内容で定められているのか</p> <p>答弁【教育長】 学校では、学期ごとに教育相談を行っており、児童生徒たちが抱える問題を担任と一対一で 話すことができる体制となっている 他にも養護教諭、学年主任等が、生徒からの相談があれば、随時対応できる体制を整えている 相談をした児童生徒のプライバシー等を配慮しながら、対応していく体制となっている</p>						